

揮発性アミン： 低濃度でも良好なピーク形状

Agilent J&W VF-624ms GC カラム

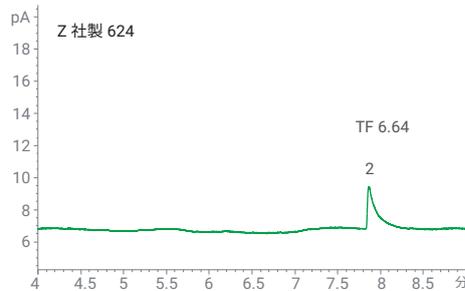
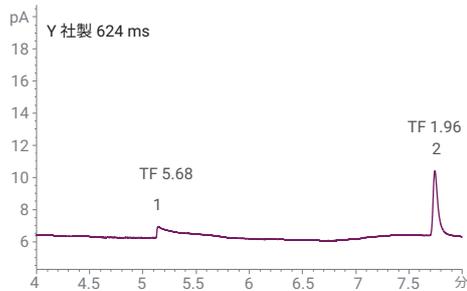
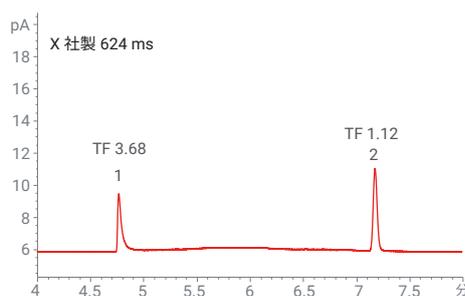
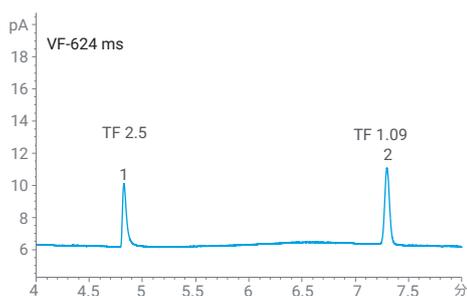


揮発性アミン分析の課題を解決

優れた感度と再現性の高い結果を得られる VF-624ms

Agilent
CrossLab
From Insight to Outcome

アミンを GC で分析する際は、効率的で不活性度の高いカラムを選択し、シャープで対称なピークを実現して感度を維持することが重要です。このような分析困難な化合物の場合、同様の種類の相であっても、不活性度に差異があり、ピークテーリングや完全吸着が生じることがあります。



ピーク	化合物名
1	ジエチルアミン (DEA)
2	トリエチルアミン (TEA)

GC システム：Agilent 8890/FID

注入口：スプリットモード、270 °C、50:1

注入量：0.2 μ L

カラム：VF-624 ms、30 m x 内径 0.32 mm x 1.8 μ m (CP9104)

キャリア：ヘリウム、定流量、2.2 mL/min

オープン：40 °C (3分)、10 °C/min で 120 °Cまで昇温 (4分)

検出器：FID、300 °C、水素：30 mL/min、空気：400 mL/min

800 pg オンカラムの DEA と TEA の分析において、VF-624ms と 3 つの他社製 624 タイプカラムを比較しました。不活性度に優れる VF-624ms は、テーリングファクター (TF) によって計算されたように、全体的に良好なピーク形状が得られました。また、感度の向上により、優れた検出下限と直線的で正確なキャリブレーション範囲を実現します。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE10265653

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2022

Printed in Japan, February 17, 2022

5994-4611JAJP

Agilent J&W VF-624ms によるアミン分析の詳細については、5994-4537JAJP をご覧ください。

